

皆さま、こんにちは。

3月5日の例会を最後に、3月4月5月そして6月4日11日と約三か月半の間例会はお休みとなりました。その間平塚RCでは、新型コロナウイルス感染拡大及びそれに伴う緊急事態宣言の自粛要請に基づきすべての活動が中止あるいは延期となりました。会員の方々におかれましては、ロータリー活動に様々なご期待を頂いているにも拘らずお答えできずに本当に申し訳ない思いでいっぱいです。また理事役員の方々には、感染リスクのなか5月26日及び6月1日と臨時理事役員会にご出席を頂き、当面の懸案をご審議頂きましたこと心より感謝申し上げます。

休会中、何かの方法で例会あるいは会員相互の繋がりを保つ術を模索しておりました。先日の情報集会にもご提案がありましたが、ネットを使っての例会の実施や動画配信など検討をいたしました。しかし、クリアすべき課題や時間的な問題もあり今期は実施することが出来ず、会長としての力不足を痛感しております。

そのようななかで、4月2日より会長報告を配信させて頂きました。どなたもコロナ対策で忙殺されている中ご覧頂けるか疑問ではありましたが、出来る方法で現状を報告することを選びました。途中より幹事や吉野さんの協力も得て、幹事報告や会員情報も加えさせて頂きました。また紙面の余裕がある時は、(忙中閑あり)としてちょっとした話のネタをご紹介しましたが、会員の方によってはネタ元をご存知の方もいたようですね。

一時期よりは収束しつつあるコロナ感染流行ではありますが、必ず来るであろう第二波も含めてまだまだ気の抜ける状況ではありません。そのようななかではありますが、今月18日25日は会場を変え、三密を避ける等の感染対策をしたうえで例会を開催いたします。ご心配な方も多くいらっしゃると思いますが、もしお許しいただけるのであればご出席をお待ちしております。

(忙中閑あり) コロナ禍は、様々な人々に多大な影響を与えています。社会と教育の接点である就職。2021年卒業の大学生の就職内定率は、6月1日現在64.0%で2017年以降前年を下回ったのは初めてです。2020年卒の内定率は71.1%で最終的に就職率は78.0%でした。2021年卒学生の就職は、数字のうえでもかなり厳しいことが浮き彫りとなりました。

その就活で昨今流行りなのが、企業のインターンシップです。就職する前に、実際の企業で試しに働いてみる就業体験のことですが、最近は体験型プログラムや一日体験などの変化もあるようです。そんなインターンシップを行った企業の人事の方から、ちょっと面白い話を聞いたので紹介します。

ある外食産業の人事で、女子大学生をインターンシップで受け入れていました。その日は、現場研修ということで店での体験になります。厨房や接客など見学説明を聞き、実際にお客さんの接遇をしていると、地元選出の国会議員と県議会議員が食事に来ました。店長が二人の議員にインターンシップの説明をすると、その女子大生を呼んで話す機会を持ってくれました。その日の研修終了時間に、店長は女子大生から「テレビとかで見る偉い人も来るんですね」「テレビで見るより小柄だった」など芸能人を見たような感想でした。議員との話の中で、大学生の就職について様々な情報もあったのですが、彼女たちはあまり覚えていないようでした。彼女たちにとって政治家は、自分たちの代表者として県政や国政に意見を言ってくれる人ではなく、テレビで見る有名人なんですね。「偉い」人はどうも「遠い」人のようだ、とその店長は言っていたようです。

女子大生の政治家像はともかく、「偉い」は「遠い」という言葉に引っ掛かりました。企業や組織で部下を持つようになって管理職と言われるようになると、一部の部下から「偉い」と表現をされたりします。「偉い」が適切な表現だとは思いませんが、確かに多くの人に指示を与える立場の人間は、そのように言われることが多いことも事実です。ですが前述の女子大生ではありませんが、同じ組織で仕事をする仲間が「遠い」人になると風通しが悪くなります。意思の疎通は、企業や組織にとって血管同様大切なものです。自戒も込めてこの話を聞きました。「遠い」人になってないかと。

では、6月18日の例会を楽しみにしております。